取扱説明書

Amenity Life To You

もくじ

温水セントラルヒーティングとは …… 2

使用方法　ボイラー …… 3

パネルヒーター …… 4
室温は自動的に調節できます

パネルヒーターにエアーがたまると … 6

パネルヒーターとボイラーの …… 7
温度調節の目安

使用しない期間は …… 7

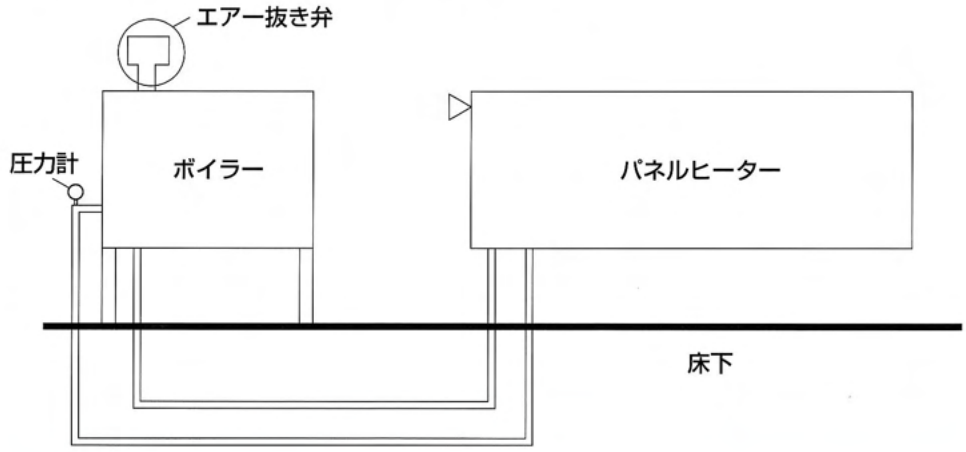
故障　異常の見分け方と処置方法 …… 8

ボイラーのエアー抜き …… 9

警告・注意 …… 10

温水セントラルヒーティングとは

暖房用温水ボイラーにより作られた温水を、床下や天井裏などに施工された配管をとうしてパネルヒーターに送り、パネルヒーターを暖め室内を暖房します。



24時間暖房で

セントラルヒーティングは、寒い室内を急に暖かくすることは苦手です。
頻繁に運転の『入』『切』を行いますと、かえって不経済になります。家の中を『保温』するような使い方をしてください。

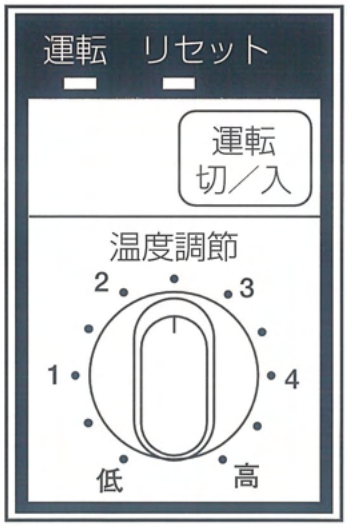
外出するときも運転『入』の状態のままでかけてください。
長期間にわたって留守にする場合は当社まで必ずご連絡ください。

春先、秋口など日中暖かい日は、『切』にしていただいても結構です。
但し夕方寒くなる1時間～2時間前に運転スイッチを『入』にしてください。
（室内の温度が低くならないようにする）

家全体を暖める……全室暖房

ご使用にならない部屋でもサーモスタットバルブの目盛りは「12℃」以下にしないでください。
寒い部屋があると……
結露の発生
隣室が寒い
不経済（灯油の消費が増える）

使用方法　ボイラー



1）運転　切／入　スイッチを押す

運転ランプが点灯し、バーナーの予熱：循環ポンプの運転が開始します。
約５～６分後に燃焼が開始します。

2）つまみを回してお好みの温度にする

暖房水の温度を約40℃～約75℃の間で調節できます。温度目盛りのめやす

つまみ位置	低	1	2	3	4	高
温度（めやす）	40	42	50	59	69	75

温度（湯温）調節つまみの位置は室内が充分暖まる様であればなるべく「低め」の方がよい。（経済的）冷え込む日、風の強い日などは「高め」に設定してください。

3）運転　切／入　スイッチを押す

運転ランプが消灯し、運転が停止します。
約30秒後に循環ポンプが停止します。

リセットランプが点灯したときは

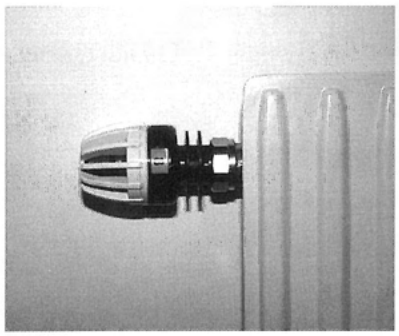
8ページを参照してください。

パネルヒーター

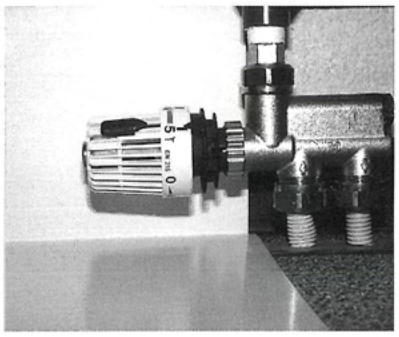
室温は自動的に調節できます。

サーモスタットバルブ

サーモスタットバルブは、室内の温度の変化に応じ、自動的に流量を調節し、お部屋を一定の温度に保ちます。



0	*	1	3	5	6	7	8
閉止	8	12	16	20	22	24	26



0	*	1	2	3	4	5
閉止	6	12	16	20	25	30

バルブ本体の指標にバルブノブの目盛りを合わせてください。

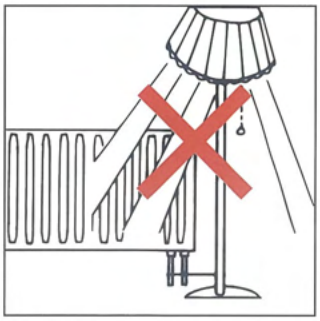
目盛りはあくまでも目安ですから、お部屋の室温によって多少の加減調節を行ってください。

バルブノブを「0」にセットしますと室温に無関係に閉止します。

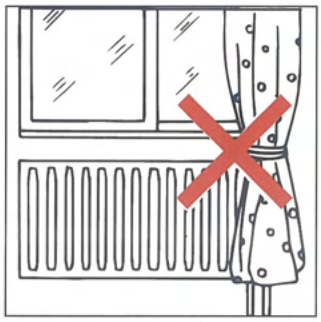
「0」にセットしないでください。

一度セットされたサーモスタットバルブは室温を変更する場合以外、触れる必要はありません。
室温が設定温度以上になると、
サーモスタットバルブ内に組み込まれている感温体が熱膨張し、放熱器への温水の流れを絞ってゆきますので、室温の上昇が抑えられます。反対に室温が設定温度以下になりますと、感温体が収縮し、弁は自動的に開き、温水が放熱器に入り室温が上昇します。このような自動的な作用によって、室温は一定に保たれます。ただし、日射などの関係によりサーモスタットバルブの調整が必要な場合があります。

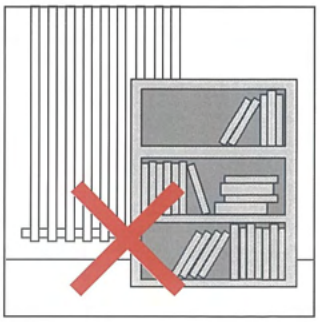
＊　サーモスタットバルブが働き、温水の流れが極端に絞られて使用される場合、流量音などが発生することがあります。バルブの温度設定を変更すればとまりますが流量調節が必要な場合があります。



サーモスタットバルブは、周囲の温度を敏感に感知して作動しますのでテレビ、電気スタンドなど熱源となるものを近くにおかないでください

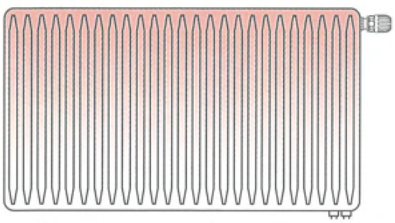


サーモスタットバルブは、温度を調節する大切な箇所ですから、近くに障害物を置いたり、カーテン、おおいなどがかからないように注意してください。



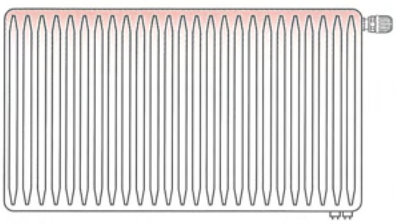
＊サーモスタットバルブが働いている場合、放熱器の表面は下図のような状態となります。この状態は、故障ではありません。ご注意ください。

全体的に熱い



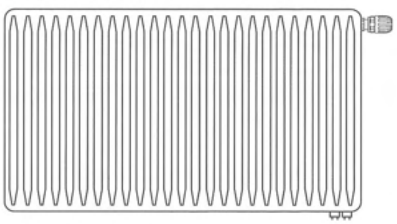
室温がサーモスタットバルブの設定温度より低い場合

上部のみあつい



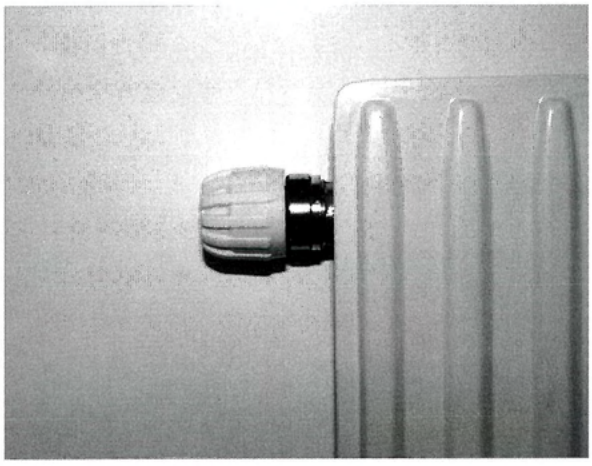
室温がサーモスタットバルブの設定温度になっている場合

全体的に冷たい



室温がサーモスタットバルブの設定温度より高い場合

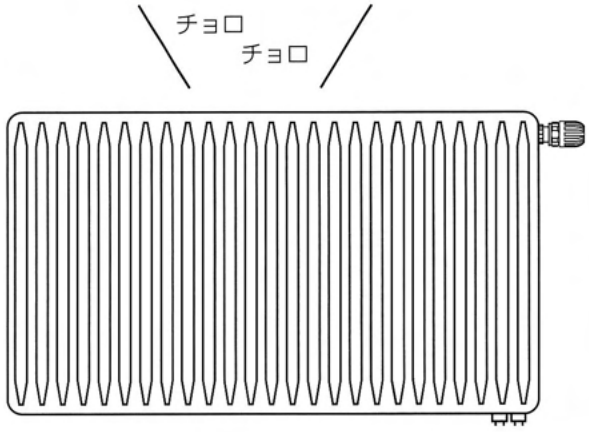
手動バルブ



手動バルブの時には、お部屋が熱すぎたら少し右へ回して絞り、寒ければ左に回してバルブを開けて室温を調節してください。

パネルヒーターにエアーがたまると

パネルヒーターからチョロチョロ音がします。



短い期間なら問題ありませんが長期にわたりそのままにしておきますと腐食の原因になります。
音が鳴りましたらご連絡ください。

パネルヒーターとボイラーの温度調節の目安。

ボイラー調整目安 ＼ パネルヒーター調整目安	低	中	高
低	長期外出時	春、秋	春、秋
中	―――――	春、秋	冬　季
高	―――――	冬　季	冬　季 低温時

＊　上の表は建物及び外気温等により、必ずしも当てはまらない場合があります

使用しない期間は

1：ボイラーの「入／切」スイッチを押し運転を切にする。
2：各お部屋のパネルヒーターのサーモスタットバルブを全開にする。
（サーモスタットバルブは夏の間も温度を感知し作動していますので負担を少しでも軽くするために全開にしておいてください。）

故　障　異常の見分け方と処置方法

ボイラー

	現　象	原　因	処　置　方　法
予熱時	運転スイッチを入れても運転ランプがつかない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。
		電源の元スイッチが（ブレーカー）が「切」になっている。	電源の元スイッチを「入」にする。
		停電している。	そのまま通電するまで待つ。
運転開始	リセットランプが点灯し点火しない。	灯油タンクの送油栓が閉まっている。	灯油タンクの送油栓を開け、「燃料切れ」と同じ処置をする。
		燃料切れしている。	1；運転スイッチを「切」にする。 2；灯油タンクに給油する。 3；運転スイッチを「入」にする。 4；再び運転が停止したときは、運転スイッチを「切」にした後、再度「入」にする。 燃焼するまで繰り返す。
		耐震自動消化装置が作動している。	運転スイッチを「切」にした後、再度「入」にする。
	リセットランプが点滅している。	ボイラーにエアーがたまっている。	9頁ボイラーのエアー抜きを参照して下さい。
燃焼中	燃焼音が異常。	運転スイッチを「切」にし、ご連絡ください。	
	すすがでる。		

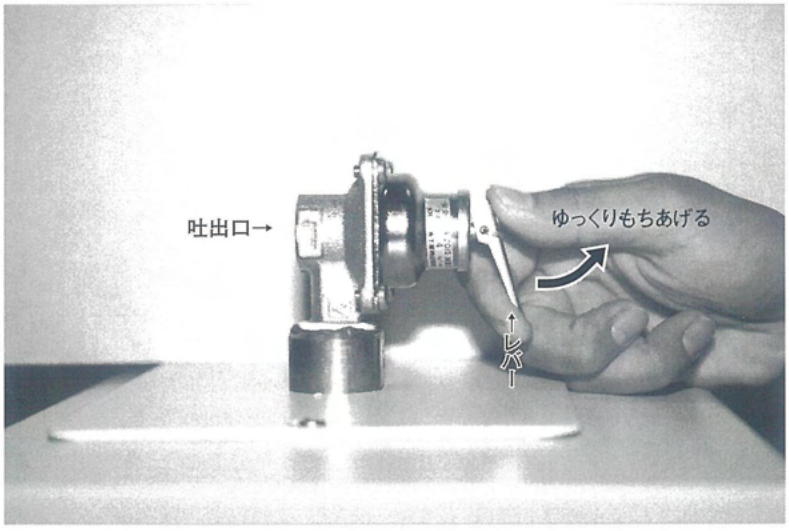
ボイラーのエアー抜き

リセットランプが連続で点滅（ついたり、きえたり）する場合、ボイラー本体に空気がたまっています。
ボイラー上部のエアー抜き弁よりエアーを排出します。

リセットランプが連続で点滅している時以外はエア抜きの必要はありません。

※空気排出の方法

1．空気抜き弁の吐出口に雑巾をあてがう。
2．レバーをゆっくりもちあげ空気を排出する。
＊空気が排出されますとシステム水が出てきます。
　システム水が出てくれば空気抜きは完了です。
3．リセットランプが自動的に消灯し、運転を開始します。



やけどのおそれあり。十分に冷えてから作業して下さい。

⚠警告

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災のおそれがあります。

外れ危険

給排気筒（管・ホース）が正しく接続されているか点検してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

⚠注意

高温部に注意

燃焼中や消火直後は、高温部、排気部に手など触れないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

分解修理の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

給排気筒トップ閉そく注意

積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪でふさがれないように注意してください。
排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

電源コードの注意

熱を受けないようにしてください。
電源コードを傷んだまま使用すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠注意

本体及び配管部分に手などを触れたままでいますと、低温やけどをすることがあります。
乳幼児や身体の不自由な方には、付き添いなしでは、使用しないでください。
必要に応じて、ガードを設けるなど処置をしてください。

本体にのぼったり、重いものを乗せないでください。
変形・破損のおそれや、脱落によりケガをする事があります。

本体に乗ったり、腰掛けたり、傾けたりしないでください。
転倒し、ケガをする事があります。

パネルを長持ちさせ、暖房効果を低下させないためにも、時々乾いた布で表面を拭いてください。

パネルの汚れは、湿った布で取り、そのあと乾いた柔らかい布で水分をよくふき取ってください。
シンナーや薬品などをお使いにならないでください。

トイレ、洗面台、台所など日常、水を使用する場所近くに設置した場合は、水滴、洗剤、塩分などがパネルにかかるとサビをよびやすいので、すぐに乾いた柔らかい布で拭き取るようにしてください。

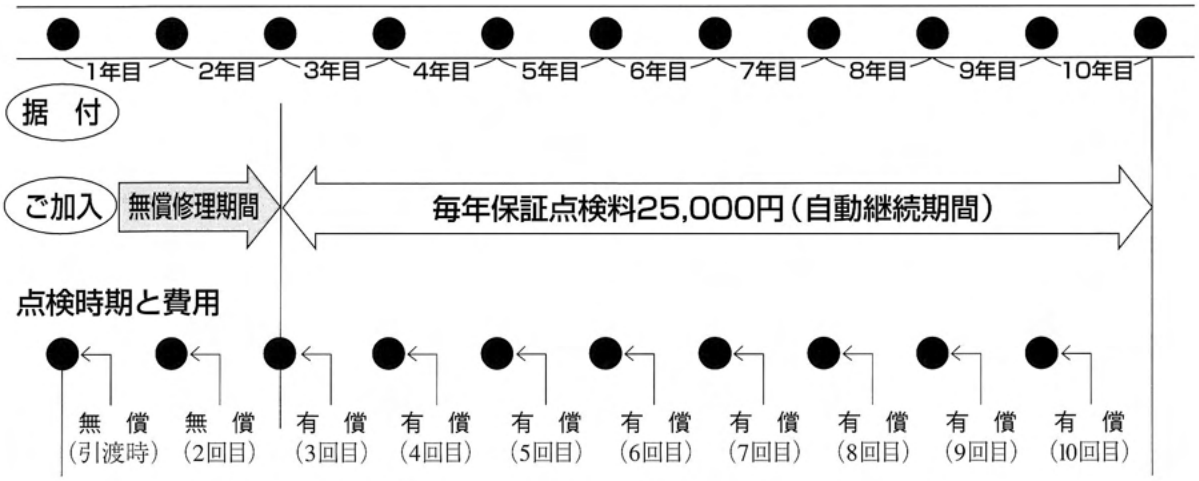
本体の清掃や補修を行うときは、必ず手袋（軍手など厚手のもの）をはめて行ってください。
素手で行うと、ケガをする事があります。

本体のすぐそばに、ものを置かないでください。
熱により変形することがあります。

水が噴き出すなどの異常時は、バルブを閉めご連絡ください。

—— はいって安心快適な暮らし！ ——

ECOTEC・ALTY 10年保証システム!!



*据付け時ご加入いただきますと2年以降8年間は、年間25,000円の金額は変わりません。
（インフレが平均4%とすると10年後の実質貨幣価値は16,890円となります。）

1）但し、このシステムに御加入されない場合の保守点検料は毎年状況により変わることがあります。

2）消費税は別途御負担いただきます。

*年1回、決まった時期にボイラー分解掃除点検、システムの総チェックを行います。

*緊急故障の際は24時間サービスとなります。（但し、10月1日ー4月30日。日曜・祝祭日含む）

*万一大型災害の場合は、大手損保会社の業務提携により保証されます。（免責事項は除く）

*通常、機器・部品の保証は1年ですが、このシステムは据付けから　5年間保証　となります。（免責事項は除く）

*10年保証システムは　工賃・出張料は、10年間無償　となります。（免責事項は除く）

*消費税は、別途となります。

★保証内容（加入者に限る）

No.	保証区分	保　証　基　準
1.	10年保証	① セントラルヒーティング配管システム内の錆によるつまりなど性能の明らかな低下 ② 配管システムにおける水洩れ等による事故
2.	5年保証	① パネルヒーター表面塗装の自然剥離 ② パネルヒーターの水洩れ ③ ボイラー機器の部品
3.	2年保証	① セントラルヒーティングシステムの完全無償保証（工賃、経費、点検料）

【免責事項】

下記の場合は保証期間中でも有償となります。

1）御使用上の誤り（燃料間違い及び灯油切れ等）
2）不当な改造や修理などによる故障
3）火災、地震、水害、落雷等による故障
4）その他、契約外事項

MEMO

アルティ株式会社
〒007-0838 札幌市東区北38条東7丁目1-29
TEL（011）704-2225　FAX（011）704-8266
株式会社エコテック
TEL（011）751-1616　FAX（011）711-7868